

第1回過疎集落研究会 議事要旨

1. 日時 平成20年12月5日(金) 15:00~17:00

2. 場所 国土交通省(中央合同庁舎2号館) 地下1階 第2会議室A・B

3. 出席者(敬称略、50音順)

座長: 小田切徳美

委員: 寺澤健治、広瀬敏通、深井正、藤山浩、前田和彦、山本信次

4. 議事

- (1) 委員の紹介
- (2) 研究会設立の趣旨について
- (3) 過疎地域における集落の現状と課題について
- (4) 自由討議
- (5) その他

5. 議事概要

主な意見は以下のとおり。

- ・ 集落単位で、生活機能を完結させるのは現実的ではなく、ネットワークによる新たな地域単位や拠点作りを考えるべきではないか。その際には、移動手段の確保とセットで議論するべきではないか。
- ・ 都市と集落の住民間の、ライフスタイルや価値観の違いについて、十分に認識するべき。各人が望むライフスタイルを実現できるようにすることは国の役割ではないか。
- ・ 林業については、植林や下刈りについて高齢者への依存が高い実態がある。森林の経営については、所有者が必ずしも森林の側に居住する必要はなく、力のある林業事業主体に経営部分をゆだねることも考えるべきではないか。
- ・ 過疎集落の対策については、国の役割とあわせて、自治体の役割はどうあるべきかということについても議論するべき。
- ・ 対策を現実的に実施していくためには、活力のある住民のサポートや、マネジメントの人材の確保や育成が重要である。
- ・ エネルギーや環境といった視点を追加して議論していくべきではないか。